

東通村と都市部との交流事業 ～東京都北区立浮間中学校職場体験～

7月7日(火)～9日(木)の間、東京都北区立浮間中学校(松本洋人校長)2年生の生徒8名(男子3名、女子5名)が、東通村で第一次産業に携わる職場体験を行いました。

この職場体験の受け入れは、平成16年度から東通★東風塾(山崎孝悦塾長)が主体となり実施している「東通村と都市部との交流事業」がますます発展し、東通村と北区との絆がより深まることを願って、昨年度から行っているものです。



山崎塾長から歓迎のあいさつ

浮間中学校では、この職場体験を通じ、キャリア教育の一環として、都会ではできない第一次産業を体験することで、生徒達に将来就く職業の選択枝を広げてもらいたいという方針があります。そして、職場体験先等へのホームステイにより、考える力やコミュニケーション能力を伸ばし、さらに、働く人とふれあう素晴らしさを体験してもらう狙いもありました。

また、東通村にとっても、東通村のファンをもっと増やしたいという思いがあり、東通村と東通★東風塾で職場体験を受け入れることになりました。

職場体験は、山崎農園、村田農園、中西農園、奥島農園、野牛漁業協同組合、岩屋漁業協同組合、東通村産業振興公社の7カ所で行われ、生徒たちは2日間にわたり、農業、漁業、畜産業を体験し汗を流しました。

2日目の夕方は、東通★東風塾により、生徒や職場体験先、ホストファミリーの方々を交えての合同夕食会が行われました。生徒達は職場体験先でお世話になった方から「働くとは?」を教えてもらい、その意味を自分自身が考え、「2日間で体験を通して将来の職業選択の幅が広がった。生きがいと思える仕事を見つきたい。」と将来についての意気込みを発表しました。

3日目は、尻労漁港から漁船に乗りジオパーク体験をし、尻屋埼灯台を見学した後、野牛川レストハウスでそば打ち体験を行いました。最後に、山崎塾長から体験修了証と東通倶楽部のポロシャツが手渡され、生徒たちは、東通村で貴重な多くの経験を積んで、一回り成長した姿で帰路に就きました。

浮間中学校の生徒の皆さん、東通村を第二のふるさととして、いつでも帰ってきてくださいね!



山崎農園にてハウスづくり



中西農園にてミズの収穫



奥島農園にて薪割り



村田農園にて苺のバック詰め



産業振興公社にて牛舎の掃除



合同夕食会での体験発表



そば打ち体験



ジオパーク体験